

事務事業名		河川維持補修事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
H29作成課等名		土木課	H29係等名	維持係	H28担当課等名			土木課	
基本計画上の位置づけ		政策 4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり					事業種別	政策
		施策 45	居住基盤の向上					開始	終了
目的	対象(誰・何を)	準用河川及び普通河川					対象指標	指標名及び単位	28年度数値
	意図(どうい状態にするか)	河川施設の維持補修を行い、漏水や護岸の決壊等を未然に防止し、市民の安全を確保する。						河川維持補修必要箇所:箇所	17箇所
	向上させたい上位施策の成果指標	・居住基盤の満足度:%							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	河川維持補修実施か所:箇所			10	10	12	17	
	定性目標								
事業概要	・河川施設のパトロールや関係地区からの補修要望、緊急通報等により、市内準用河川、普通河川の河川施設の維持補修工事を実施する。								
28年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	河川維持補修工事				工事箇所数		17カ所		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		15,453	9,337	9,332	0				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他									
一般財源		15,453	9,337	9,332					
人件費計(千円)②		465	0	0	0				
正規職員所要時間		130							
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		15,918	9,337	9,332	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り		河川施設の維持管理を行い漏水や護岸の決壊を未然に防ぐことが出来た。 また、昨年度の豪雨により流出して堆積した土砂の浚渫を行い河道確保をした。							
改革改善の考え方	①問題点	老朽化した護岸の大規模な補修が予想される。 山林の荒廃などにより、河川内に土砂が堆積し、排土の要望が増加している。							
	②改革提案	予算拡大							